

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	05	164260	農村施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		24,851	11,283		-13,568
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	24,800	7,600		-17,200
	その他	0	0		0
	一般財源	51	3,683		3,632

特定財源の内訳					
事業期間		単年度繰返		期間限定	~

部重点施策における目標					
-------------	--	--	--	--	--

観光資源の充実 大迫地域への観光客の増加を図るため、施設等の整備活用を図る。					
---	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯					
------------	--	--	--	--	--

観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。 観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。					
--	--	--	--	--	--

事業概要					
------	--	--	--	--	--

農村施設（4施設）の高圧機器更新業務委託		7,653千円
自然休養村センター耐震診断調査・保全計画書作成業務		3,630千円

担当部署	22140000 大迫支所 大地(商工)	担当課長	阿部 晋
------	----------------------	------	------

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細 1			
-----------	--	--	--

農村施設維持事業費 11,283千円			
--------------------	--	--	--

【農村施設高圧機器更新業務委託 7,653千円】			
--------------------------	--	--	--

【現状】施設の経年劣化による老朽化 雨漏りの発生 設備等の老朽化による破損	観光客のイメージの悪化 施設利用者の満足度低下 安全、安心への懸念
---	---

【対応策】 小規模修繕での対応 修繕対応不可 利用状況低下 大規模改修の実施	後年度への懸念	解体撤去
--	---------	------

R1実施事業 ・農村施設（4施設）高圧機器更新業務	7,653千円
<概要> 大迫ふるさとセンター、ホテルステイヒル、大迫森のくにセンター、ワインシャトー大迫の電気高圧機器について、老朽化に伴う事故等が懸念されることから更新を図るもの。	

参考：過去の大規模改修の実施	
H30 大迫ふるさとセンター屋根改修工事	24,851千円
H29 ホテルステイヒル屋根改修工事	17,351千円
大迫ふるさとセンター耐震診断業務	1,566千円
H28 大迫森のくにセンター屋根改修工事	21,512千円

【自然休養センター耐震診断調査・保全計画書作成業務委託 3,630千円】	
--------------------------------------	--

自然休養村センターの建物は、昭和51年に建築された建物であり、老朽化が進んでいる。当該施設は、指定緊急避難場所となっている湯口振興センターに隣接しており、地域づくり・生涯学習の場となっていることから、施設の安全性と長寿命化を図るために耐震診断及び保全計画書の作成を実施した。	
---	--

(参考) 震度6～7規模の地震があった場合、倒壊する危険性が高い建物ではないが、耐震の規定値を満たしていないとの診断結果であったことから、今後耐震補強工事実施設計及び耐震補強工事を実施予定。 (令和2年度6月補正予算要求)	
---	--

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		61,900	60,900		-1,000
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	61,900	60,900		-1,000

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	～
------	-------	------	---

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

地域資源の保全と魅力アップを図り、観光誘客の場として活用する。

事業概要

まつり、イベントの開催経費の一部を負担する。

南部杜氏の里まつり、田瀬湖湖水まつり、イーハトーブ音楽祭、石鳥谷まつり、あんどんまつり、イーハトーブフォーラム、石鳥谷まつり、花巻まつり、花巻まつり特産品フェア、土沢まつり、大迫ワインまつり、わんこそば全日本大会、大迫・宿場の雛まつり

合計 60,900千円

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

まつり、イベントの開催経費の一部負担（単位:千円）

【目的】市がまつり・イベントの実行組織等に財政的な支援を行うことで、まつり・イベントが円滑に運営され、もって交流人口の拡大とそれに伴う賑わい創出や消費拡大等地域活性化を期すもの。

イベント名	負担金額	開催日	R1入込数
南部杜氏の里まつり実行委員会負担金	400	6月1日(土)	350
田瀬湖湖水まつり実行委員会負担金	4,400	7/27(土)～28(日)	7,882
イーハトーブ音楽祭実行委員会補助金	500	8/10(土)～11(日)	5,800
石鳥谷まつり実行委員会負担金	5,000	8/13(火)	37,000
(負担金前年度比 1,000、前年度第30回記念事業)			
あんどんまつり山車保存会負担金	1,900	8/14(水)・16(金)	5,000
イーハトーブフォーラム実行委員会負担金	16,000	8/24(土)～25(日)	58,054
石鳥谷まつり実行委員会負担金	4,800	9/8(日)～10(火)	40,000
花巻まつり実行委員会負担金	18,600	9/13(金)～15(日)	118,000
花巻まつり特産品フェア実行委員会負担金	1,000	9/13(金)～15(日)	36,326
土沢まつり実行委員会負担金	2,400	9/15(日)～16(月)	3,500
大迫ワインまつり実行委員会負担金	3,400	9/15(日)	11,000
わんこそば全日本大会運営委員会負担金	1,800	R2.2/11(火・祝)	6,000
大迫・宿場の雛まつり実行委員会負担金	700	R2.2/21(金)～3/3(火)	6,000

合計：60,900千円（前年度比 1,000千円） 334,912

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,683	1,396		-1,287
財源内訳	国費	200	0		-200
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,483	1,396		-1,087

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出します

事業開始の背景・経緯

花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

事業概要

釜石線沿線活性化事業支援 400千円
釜石線沿線の自治体等が連携して、S L 銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線活性化委員会への負担金

産業観光パンフレット作製 396千円
近隣市町村と連携した広域的な産業観光(工場見学、体験等)を紹介するパンフレットの更新

花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業支援 600千円
花巻・遠野・平泉観光推進協議会が実施する広域的な誘客への取組を支援

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

釜石線沿線活性化委員会負担金 400千円
釜石線沿線自治体(花巻・遠野・釜石・住田)、J R 等が共同で実施する誘客事業への負担金
・S L 銀河の運行に合わせた誘客事業
・J R 東日本が作製するパンフレットへの広告掲載

産業観光パンフレット更新 396千円
近隣市町と連携し広域的に産業観光や体験型観光等を情報発信
・H27から北上市と合同でパンフレットを作成
・R1にパンフレットを増刷。部数は1,500部

花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 600千円
3市町の魅力を発信し広域観光誘客事業を実施する花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助
・3エリアの観光施設を周遊させる特典付き誘客企画の実施
・台湾を中心に海外の現地旅行会社へのセールスや商談会等への参加
・平泉駅構内のデジタルサイネージを活用した情報発信

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		7,776	1,932		-5,844
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	1,356	0		-1,356
	一般財源	6,420	1,932		-4,488

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図ります。

事業開始の背景・経緯

観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の良好な維持管理を行う必要がある。
観光施設の経年劣化があり、長寿命化を図る大規模改修の必要がある。
老朽化により未使用となった施設等については、安全確保のため、解体撤去の必要がある。

事業概要

観光施設の大規模改修の実施 1,932千円
ステップインはなまき展示コーナー照明LED化業務委託

担当部署	14200000 商工観光部 観光	担当課長	藤井 淳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

実施事業

- ・ステップインはなまき展示コーナー照明LED化 1,932千円

<概要>

昭和60年の設置時から35年経過し、経年劣化が進んでいるJR新花巻駅構内 ステップインはなまきの照明器具をLED化したもの。

待合スペース天井
観光案内所天井
展示スペース天井
ショーケース内
非常通路

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,560	87,663		86,103
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	40,800		40,800
	その他	0	0		0
	一般財源	1,560	46,863		45,303

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	～	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標
地域の特色を生かした賑わいのあるまちづくりを推進します(しごと)

事業開始の背景・経緯
道の駅「石鳥谷」は、平成5年に県内第1号の道の駅に指定されて以来、約四半世紀が経過したことから、施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、再編整備を行う。

事業概要
1 各施設の設計等業務の実施 8,779千円(委託料8,779)
2 測量調査等業務の実施 4,923千円(委託料4,923)
3 支障物件の撤去・仮設通路等の設置 37,747千円(委託料37,747)
4 受変電設備撤去及び新設工事の実施(工事前払分) 13,527千円(工事請負費13,527)
5 道の駅用地の取得 3,461千円(公有財産購入費3,461)
6 国や関係機関、団体との協議・共通経費 210千円(報償費72、旅費61、需用費56、役務費21)

担当部署	23140000 石鳥谷支所 石地(商工)	担当課長	藤原良浩
------	-----------------------	------	------

意見・要望等の状況
石鳥谷地域協議会・市政懇談会などで、道の駅「石鳥谷」の施設再編を望む意見がある。

事業手法の詳細1
<p>1 各施設の設計等業務の実施 8,779千円(委託料8,779)</p> <p>(1) 南部杜氏伝承館曳家その他工事設計業務委託</p> <p>(2) 酒匠館・りんどう亭大食堂企画提案資料作成業務委託</p> <p>(3) 施設配置比較資料作成業務委託</p> <p>(4) 南部杜氏伝承館施設内配置比較検討資料作成業務委託</p> <p>2 測量調査等業務の実施 4,923千円(委託料4,923)</p> <p>(1) 地質調査業務委託</p> <p>(2) 境界復元測量業務委託</p> <p>3 支障物件の撤去・仮設通路等の設置 37,747千円(委託料37,747)</p> <p>(1) 樹木伐採業務委託</p> <p>(2) りんどう亭大食堂浄化槽撤去業務委託</p> <p>(3) 南部杜氏伝承館周辺構造物撤去業務委託</p> <p>(4) 酒匠館周辺構造物撤去業務委託</p> <p>(5) 排水路整備業務委託料</p> <p>(6) 仮設通路等設置業務委託</p> <p>4 受変電設備撤去及び新設工事の実施(工事前払分) 13,527千円(工事請負費13,527)</p> <p>・受変電設備撤去及び新設工事の実施</p> <p>5 道の駅用地の取得 3,461千円(公有財産購入費3,461)</p> <p>・道の駅用地(南部杜氏伝承館曳家先の一部)の取得</p> <p>6 国や関係機関、団体との協議・共通経費 210千円(報償費72、旅費61、需用費56、役務費21)</p> <p>・施設運営検討会の開催、国や専門家等との打ち合わせ</p>

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	07	01	03	178560	道の駅「石鳥谷」施設再編事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,560	19,016		17,456
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,560	19,016		17,456

※特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 30 年度 ~ 平成 35 年度]
------	-------	----------------------------	-----------------------

部重点施策における目標

2 地域の特色を生かした賑わいのあるまちづくりを推進します(しごと)

事業開始の背景・経緯

道の駅「石鳥谷」は、平成5年に県内第1号の道の駅に指定されて以来、約四半世紀が経過したことから、施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、再編整備を行う。

事業概要

- 1 測量調査等業務委託 8,864千円(委託料8,864千円)
 - 周辺測量調査業務委託(委託料4,752千円)
 - 周辺用地境界復元測量業務委託(委託料4,112千円)
 - ・道の駅「石鳥谷」周辺の現況測量調査等を実施した。
- 2 道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画の策定 10,152千円(委託料10,152千円)
 - 道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画策定業務委託(10,152千円)
 - ・令和元年5月29日策定
 - ・道の駅「石鳥谷」の施設の魅力や利便性の向上を図り、交流人口の拡大、賑わいの創出に寄与することを目的とした施設再編の基本方針を定め、施設再編に必要な条件整理を行うため、『道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画』を策定した。

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

石鳥谷地域協議会・市政懇談会などで、道の駅「石鳥谷」の施設再編を望む意見がある。

担当部署 部名 石鳥谷総合支所 課名 地域振興課 担当課長 藤原 良浩

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画(令和元年5月29日策定)

■道の駅の課題

- ①地域振興施設の利用者が減少傾向
- ②国道4号からの視認性が悪い
- ③道の駅内の施設の回遊性が悪い
- ④駐車スペースの不足、トイレの老朽化・器数が不足

■整備コンセプト

「南部杜氏の里」の魅力発信から「ひと」「もの」「情報」を育み、石鳥谷を元気にする道の駅
～日本酒文化の発信と駅内配置の再構築による「いつでも行きたい」交流拠点の形成～

①「南部杜氏の里」の魅力発信と、地域の憩い・交流の場の形成

- ・南部杜氏伝承館の展示内容の見直し、食堂機能の大食堂への集約化など

②道の駅への視認性と分かりやすい進入動線の確保

- ・道の駅への視認性を確保、道の駅への出入りがスムーズに行えるよう配慮など

③施設機能・配置や動線等の見直しによる利便性・回遊性の向上

- ・休憩機能の充実、一部建物配置の見直しによる利便性・回遊性の向上など

④2030(令和12)年将来予測交通量に対応した駐車場の整備・トイレ器数の確保、災害時への対応

- ・24時間トイレの再整備、情報提供機能の見直し、駐車場・24時間トイレの整備など

○H31事業内容(繰越) 19,016千円(委託料19,016千円)

1 測量調査等業務委託 8,864千円(委託料8,864千円)

- 周辺測量調査業務委託(委託料4,752千円)
- 周辺用地境界復元測量業務委託(委託料4,112千円)
- ・道の駅「石鳥谷」周辺の現況測量調査等を実施した。

2 道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画の策定 10,152千円(委託料10,152千円)

- 道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画策定業務委託(10,152千円)
- ・令和元年5月29日策定
- ・道の駅「石鳥谷」の施設の魅力や利便性の向上を図り、交流人口の拡大、賑わいの創出に寄与することを目的とした施設再編の基本方針を定め、施設再編に必要な条件整理を行うため、『道の駅「石鳥谷」施設再編基本構想・基本計画』を策定した。

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	07	01	03	174420	地域産業安定化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	66,508		66,508
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	65,000		65,000
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,508		1,508

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	平成31年度 ~ 平成31年度
------	--	-------	--	------	-----------------

部重点施策における目標
地域の特色を生かした地域づくり

事業開始の背景・経緯
地域の観光産業の一翼を担う(株)とうわ地域資源開発公社は、平成28年度および平成29年度決算において当期純損益が2期連続赤字となったことから、「経営健全化計画」により売上向上を図るとともに、市は「経営健全化方針」による支援を行い、経営健全化に取り組む。

事業概要
経営改善のためのコンサルティング補助金 (株)とうわ地域資源開発公社の売上増加を図るため、専門的なコンサルティング費用に対し補助を行った。
(株)とうわ地域資源開発公社への増資 (株)とうわ地域資源開発公社が運営している「とうわ温泉」の施設設備が老朽化していることから、施設設備の更新費用とするため増資を行った。

担当部署	24140000 東和支所 東地(商工)	担当課長	中村 陽一
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況
平成31年第1回花巻市議会定例会予算特別委員会における議案第26条平成31年度花巻市一般会計予算において同社の経営健全化に向け、次のとおり附帯決議が付された。資産の適切な減価償却に努めること。経営および経理の専門家の十分な指導・助言を受けること。同社役員が経営責任を持ち健全経営への道筋を示すこと。

事業手法の詳細1
(1) 経営改善事業補助金 1,500千円 補助金の概要 (株)とうわ地域資源開発公社の売上向上を図るため、専門的なコンサルティングに係る費用(3,000,000円)に対し、1/2の補助金(1,500,000円)を交付した。
(2) 出資金(増資) 出資金(増資)の概要 (株)とうわ地域資源開発公社が運営している「とうわ温泉」の施設設備が老朽化していることから、施設設備の更新費用とする65,008,000円を増資した。